

Title	對支クレジットとしての英吉利輸出信用保證制
Author(s)	小島, 昌太郎
Citation	經濟論叢 (1936), 43(5): 752-756
Issue Date	1936-11-01
URL	<a href="http://dx.doi.org/10.14989/130862">http://dx.doi.org/10.14989/130862</a>
Right	
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	publisher

會學濟經學大國帝都京

# 叢論經濟

號 五 第

卷三十四第

行發日一月一十年一十和昭

## 論 叢

地方稅賦課の方法

法學博士

神戸正雄

利子歩合の決定

文學博士

高田保馬

新國民主義の立場

經濟學博士

石川興二

## 時 論

賣上税を論ず

經濟學博士

沙見三郎

## 研 究

我國に於ける「社會事業」の實際的概念

經濟學士

中川與之助

貨幣經濟論的見たる財産稅

經濟學士

中谷實

保險プールについて

經濟學士

佐波宣平

## 說 苑

對支クレヂツトとしての英吉利輸出信用保證制

經濟學博士

小島昌太郎

米穀自治管理法の實施

經濟學博士

八木芳之助

## 附 錄

新着外國經濟雜誌主要論題

## 説苑

### 對支クレヂットとしての英吉利

### 輸出信用保證制

小島昌太郎

#### 一

十月十三日倫敦發《同盟》電報によると、英吉利政府は支那に對する貿易の促進をなす目的を以て、その Export Credit Guarantee Department を通じ、倫敦駐在支那代表との間に、輸出保證協定を締結し、輸出保證の形式により、數百萬磅の借款を提供することゝなつたといふことである。

電文甚だ簡單であるから、果して、如何なる方法によつて、輸出保證の形式の下に借款の實を擧げんとするかを審にしないけれども、この機會を以て、英吉利

の輸出保證制度が、かゝる目的に利用せらるゝの可能を調べて見やうと思ふ。

#### 二

Export Credit Guarantee Department (輸出信用保證局) といふのは、Board of Trade (商務省) の言はる一局であつて、Free Export Credit Act (輸出信用法) により利用し得る所の一定額の資金を以て、英本國に於て全部または一部生産せられ、または製造せられたる貨物(石炭を含む)の英本國よりの輸出に關聯して、海外の買手に宛て、振出されたる磅手形の満期日に於ける支拂を Guarantee (保證) するの局に當るものである。そして輸出保證といふのは、右の如き輸出商品の代金取立のために振出されたる手形に對して、その支拂人たる輸入商が満期日に支拂をしない場合に於て、政府がその支拂をするといふ約束である。

この保證は、右の手形の割引をなす銀行に對して與へられるのである。保證の範圍は、“without recourse”

の手形（振出人が償還請求に應ずべき義務を負はざる手形）たるは、*with full recourse* の手形（振出人が償還請求に應ずべき義務を完全に負ふ手形）たるによつて異なる。前者に對しては、政府は、手形金額の七五%を限度として、保證を與へるのであり、後者に對しては、手形金額の全額に對して保證を與へるのである。それゆゑに、*without recourse* の手形が、輸入商たる手形の支拂人に於て、満期日に於て支拂はれない場合には、割引をなしたる銀行は、最高に於て手形金額の七五%の範圍内に於ける政府保證の金額までは、政府より辨済を受け、その範圍内に於ては、振出人たる輸出商に對して辨済の請求をなすことなく、たゞ殘額たる政府保證外の金額、すなはち最低の場合に於て、手形金額の二五%は、手形債權以外の方法にて輸出商より辨済を受くる方法をとらなければならぬこととなる。そしてその手形は、振出人に於て、償還の義務を負担しないものであるから、政府が保證の義務として支拂ひたる金額は、政府の負擔に屬し、振出人たる輸

對支クレヂットとしての英吉利輸出信用保證制

出商は結局、手形不拂によつて蒙るべき損失を政府保證の範圍内に於て免るゝこととなるのである。

併しながら、*with full recourse* の手形が不拂となりたる場合にあつては、それが全額の保證を受け居るときは、割引をなしたる銀行は、政府から全額の辨済を受くることが出来る。そして、この手形は、振出人に於て、完全に償還の義務をもつものであるから、政府が、保證の義務として銀行に對して支拂ひたる金額は、これを振出人たる輸出商に請求することが出来るのである。従つて、輸出商は、輸入商の不拂によつて蒙るべき損失を免るゝことゝはならないのである。たゞ割引をなしたる銀行は、手形不拂の場合に於ても、政府の保證支拂によつて、完全に損失の危険を免れる。

政府の保證は、手形面に裏書するの形式を以ても與へられ、または保證狀を以ても與へられる。そればかりではなく、この保證は、個々の手形の期間たる短期信用に對しても與へられ、また、輸出取引の支拂決済方法が長期に亙るものにおいて、その長期信用に對

しても與へられるのである。

### 三

政府の保證を受けたる手形は、完全なる信用をもつものとなるから、輸出商は、甚だ容易に且つ有利に銀行よりその割引を受けることが出来る。この場合に於ては、輸出信用狀を必要とすることなく、また何等の擔保の提供をも必要としない。従つて、輸出商はこの輸出信用保證制度の下に於て、甚だ容易に金融上の便宜を受け得ることとなる。

輸出商が輸出商品の代金取立について、金融上の便宜を受けることは、結局に於て、輸入商が、金融上の便宜を受けることとなる。すなはち、手形が、*(Documents against Acceptance)* 輸入商が手形の引受をなすと引換へに船荷證券その他一切の輸出書類を受取り得る方式に於て振出され、且つ満期日が引受後相當長き期間に於て定められたる場合にありては、輸入商は手形金額の支拂をなすことなく、單にその引

受をなすだけで、輸入貨物を引取ることが出来、而もその後、満期日に至るまでの永き期間、代金の支拂をなす必要がないのであるから、その期間金融上の便宜を與へられたることに外ならぬからである。

### 四

いま、支那貿易に於て、英吉利の輸出商が、この方法を利用し、その支那への輸出商品について代金回収の方法として引受後満期日まで長期間を存する手形を振出し、政府の輸出保證の下に英吉利の銀行に於て割引を受くるときは、その商品の代價は、英吉利の銀行が、政府保證の下に手形満期日まで立替へたることとなり、それは、英吉利の輸出商に對して金融上の便宜を與へると同時に支那の輸入商に代金の立替をなして、英吉利商品を買入れしめたることとなる。

これ恰も、英吉利政府が支那政府の爲めにクレデットを設定し、支那輸入商が英吉利より輸入する商品の支拂決済に充てしむると異なる所がない。殊に、この輸

出信用保證制は、必ずしも各個の手形に對する裏書保證の方法によるを要せず、包括的に保證狀を以てこれを與へ、且つ長期信用についてもこれをなすことを得るものであるから、英吉利の輸出商が、例へば一ヶ年の期間を以て、支那の一定の一人または數人の輸入商に宛て、送り出す輸出品につき、この包括的な長期信用の保證狀を受くるときは、恰も一ヶ年の期間のクレデットを受けたると同様の事柄となる。

## 五

今般、英吉利政府が、その Export Credit Guarantee Department を通じ、倫敦駐在支那代表との間に、借款的效果をもつ所の輸出保證協定を締結したと傳へられて居る。併し、その協定なるものゝ内容が、如何なるものであるかは、未だ具體的には審かにしないけれども、恐らくは、たゞ、輸出信用保證として、支那貿易に充て得べき金額を決定し、その金額の範圍内に於て、英吉利の對支輸出商をして、前述の如き方法をとるこ

とを得せしめたのであらう。

併し、その謂はゆる協定なるものは、支那政府、その代表、または支那の輸入商に對して、輸出信用保證を與へるの意味ではなく、この保證は、前述の如く、英吉利の割引銀行に與へられるものである。従つてその協定なるものは、單に英吉利の側に於ては、支那向の輸出信用保證としての資金限度を決定することであり、支那側に於ては、その限度金額に達するまでの輸入を行ふことを約束したものであらうと察せられる。

この制度の性質として、この協定は、右の如く支那代表に對して、輸出信用保證を與へるのではなく、それは、常に英吉利の銀行に對して與へられるものであり、また、クレデットの場合の如く、支那の輸入商に對して、資金的便宜を與へるのではなく、それは英吉利の輸出商に對して銀行の手形割引の方法に於て與へられるのである。支那の輸入商は、英吉利の輸出商が、政府の輸出信用保證の下に銀行より長期に亙る手形割引の便宜を與へらるゝ間接の結果として、金融上の利

便を受くることとなるのである。

## 六

クレジットの場合には、融通を受けたる資金の利子は、輸入國の銀行が負擔する。そしてそれは、爲替相場に盛つて計算せられ、それによつて、輸入商に轉嫁せられる。輸出信用保證の下に於ける長期割引にあつては、割引料は輸出品の代價に盛られて、輸入商に轉嫁せられる。従つて、いづれの場合に於ても、この輸出金融の利子は、輸入商の負擔する所となるのであるが、その形式と經路とを異にするのである。

殊に、クレジットの場合に於ては、輸出國の政府または銀行が、輸入國の政府または銀行に對して、爲替資金の貸越を豫約的に許容するのであるけれども、輸出信用保證にありては、直接の關係は、輸出國の政府と、手形割引銀行との間の關係に止まり、輸入國の政府に對しても、輸入商に對しても、資金の融通、また

は貸越を許容する譯ではない。資金の融通は、直接には、英吉利の輸出商と、英吉利の割引銀行との間に行はるゝに過ぎないもので、それを可能ならしむるものが、英吉利政府の輸出手形の保證なのである。従つて、これは、表面上は、あくまでも、英吉利政府の、支那政府または支那の輸入商に對する借款と見做し得るものではない。たゞ、この制度によつて支那輸入商が、輸入品の代價の支拂を永らく猶豫を受けることとなるといふ意味に於て、借款的效果をもつものである。

それゆゑに、英支間に前述の如き謂はゆる協定なるものが、締結せられたとしても、それは英吉利政府が、支那代表に對して、一定金額の限度内に於て、輸出信用保證制そのものを、對支輸出品に對して行ふべきことの決定を表示したに過ぎないもので、これを以て借款と見るべきものではないであらう。